



産業祭 グリーンフェスタ みなとウォーキング&RORO船見学



更なる発展を感じた2日間 産業祭関連イベントが大盛況

11月15日と16日の2日間、中之庄町の伊予三島運動公園とジャジャうま広場で、四国中央市産業祭、J-Aうまグリーンフェスタが開催されました。

会場には、本市が全国に誇る特産品が勢ぞろい。ブランド里芋「伊予美人」や各種紙製品、五葉松、暖いりこなどが並び、来場者を魅了しました。恒例の大鍋で煮込んだいもたきは、今年も多くの人が行列を作るにぎわいを見せました。

更に、16日には金子国際物流ターミナルで、四国1位のコンテナ取扱量を誇る港湾施設などが公開されました。参加者は、ガントリークレーンやRORO船、物流倉庫を見学し、税関や海上保安庁の業務を体験するなど、港の仕事や仕組みについて理解を深めました。

活気ある会場の様子が、産業の更なる成長を感じさせた2日間でした。

恒久平和の願いを歌に乗せて 戦没者・公務殉職者追悼式典



11月23日、本市の戦没者と公務殉職者を追悼する式典がしこちゅーホールで行われ、遺族や行政関係者など約100人が列席し、恒久平和への誓いを新たにしました。戦後80年を迎える今年の式典は、若い世代を代表して市内の高校生が出席したほか、遺族による朗読や「ふるさと」の合唱が行われました。

本紙上で紹介できなかった記事や写真は、ホームページ「まちの話題」に掲載しています



お住まいの地区の委員は、今月の市報に同封するチラシやホームページをご覧ください▼



地域福祉の担い手に223人が就任 民生委員・児童委員が一斉改選

11月30日、民生委員・児童委員の改選に伴う委嘱状伝達式がユーホールで行われ、大西市長から新たに選任された委員へ、厚生労働大臣と県知事からの委嘱状を手渡しました。また、退任した鈴木一弘前副会長（写真）ら57人の委員に、感謝状が贈られました。



大西市長と共に褒状を手にするユニ・チャーム株式会社 高原豪久代表取締役社長執行役員（11月8日）



子どもたちの育成に大きく貢献 ユニ・チャームプロダクツに紺綬褒章

ユニ・チャームプロダクツ株式会社が、公益のために私財を寄付した個人や団体に贈られる「紺綬褒章」を受章されました。同社からの寄付は、スポーツや教育の振興を通じて、地域社会の未来を担う子どもたちの学びに役立てられています。



全国植樹祭えひめ2026 木製地球儀がやってきた！

令和8年5月に本県で開催される全国植樹祭に向け、そのシンボルである木製地球儀が県内各地で巡回展示されています。11月19日には、県東予地方局の河上芳一局長が伊予三島運動公園体育館を訪れ、大西市長に地球儀を引き継ぎました。この地球儀は、同月28日まで展示され、植樹祭をPRしました。



スカイランニングで塩塚峰の頂へ 雨に煙る坂道を選手たちが駆け上がる

11月9日、新宮町上山の塩塚峰山頂をゴールとする、日本スカイランニング協会公認競技「四国中央スカイラン」が開催されました。小学生からプロのランナーまで参加した68人の健脚自慢たちは、時折強い雨が打ちつける中、標高1043メートルの山頂を目指し、霧が立ち込める山道を懸命に走り抜けました。



ブランド里芋「伊予美人」を京都でPR！ うま農協と市がトップセールス

11月7日、うま農協協同組合と本市は、京都の食文化を支える京都市中央卸売市場で、ブランド里芋「伊予美人」のトップセールスを実施しました。仲卸業者の皆さまに向けて熱意あるセールストークを行うとともに、300食分のいもたきを振る舞い、伊予美人の美味しさと魅力を存分に伝えました。



11号バイパス・新法皇トンネル 大西市長が国土交通省と財務省に要望

11月14日、大西市長は、新居浜市や西条市、西予市の市長らと共に国土交通省と財務省を訪問し、国道11号バイパスや新法皇トンネルの早期整備を要望しました。このうち国土交通省では、廣瀬昌由技監（写真中央）から、「事業が加速するよう努力していきたい」との回答を得ました。



祝「わたSHIGA輝く障スポ」銅メダル フライングディスク 河村広さんが快挙

10月に滋賀県で開催された全国障害者スポーツ大会のフライングディスク競技において、市障がい者福祉団体連合会川之江支部会員の河村広さん（三島金子）が見事銅メダルを獲得しました。

11月19日、大西市長に喜びの報告をした河村さんは「次は優勝します」と更なる活躍への意欲を見せました。



祝全日本小学生ゴルフトーナメント優勝 藤原諒星さんが日本一に輝く

川之江小学校6年生の藤原諒星さん（レオマ高原ゴルフ倶楽部所属）が、10月に福島県で開催された小学生ゴルフの全国大会に出場し、見事優勝しました。

11月10日、市役所を訪れ大西市長に喜びの報告をした藤原さんは、「次の大会でも優勝を目指します」と意気込みを語り、更なる飛躍を誓いました。



目指せ未来の日本代表 新体操 西山愛珠さんが全国大会出場

川之江南中学校1年生の西山愛珠さん（観音寺RG所属）が、11月に東京都立川市で開催された新体操の全国大会に出場しました。

大会を控えた11月17日に出場報告のため市役所を訪れた西山さんは「全ての種目をノーマスで演技し、自分らしい明るい笑顔で頑張ります」と意気込みを語りました。



いざ、柔道家の憧れの舞台へ 川之江柔道会の3選手が全国大会へ

川之江柔道会の喜井蓮翔さん（川之江小6年・写真中央）、大西救助さん（松柏小5年・同右）、石川慶さん（上分小5年・同左）が、東京都文京区の講道館で11月に開催された柔道の全国大会に、県代表で出場しました。

3人は11月10日に大西市長を表敬訪問し、憧れの舞台に懸ける思いを語りました。



世界を魅了した日々を一挙公開 EXPO書道パフォーマンス躍動展

2千人の観客を魅了し大成功を収めた「書道パフォーマンス甲子園in EXPO」や日本各地の魅力が集まる中でひととき注目を集めた「地方創生SDGsフェス」など、大阪・関西万博での書道パフォーマンス甲子園の躍動を伝える展示会が11月26日から約1か月間、市役所で開催され、好評を博しました。



つなげ！書道の衝動SHODOー 次回大会のキャッチコピーが決定

令和8年8月2日に開催予定の第19回書道パフォーマンス甲子園のキャッチコピーが、11月10日に高校生運営チームによる協議で決定しました。キャッチコピーには、「これまでの思いを次につないでいく」という決意と、「多くの人の心を動かすような大会にしたい」という願いが込められています。



迅速な対応が命をつなぐ 功労者2人に表彰状を贈呈

8月、市内の飲食店で心肺停止となった方に対して、居合わせた阪本悠貴さん（土居町野田・写真左）と浅野功基救急救命士（同右）が、救急隊の到着まで心肺蘇生を行い、救命につながりました。

11月25日、2人の多大な功績をたたえ、坂上消防長から人命救助功労者表彰が贈られました。



支援物資の受け渡しを円滑に 県と市が合同で物資拠点訓練を実施

11月28日、県東予地方局と本市の合同で、災害発生時に支援物資の搬入や保管、搬出を円滑に行うための訓練が実施されました。

訓練では、県の備蓄物資を広域物資拠点である新居浜市の山根公園に集約した後、土居窓口センターに搬送。仕分けられた物資を市内2か所の避難所で受け入れました。



保育中に震度7の地震が発生！ 災害時に取るべき行動を模擬訓練

災害時に安全を確保しながらサービスを提供するための「業務継続計画」を用いた訓練が、11月20日に福祉会館で行われました。

参加した市内の保育士ら約40人は、園児や職員の負傷、建物や設備の損傷、市民からの救助要請、近隣で発生した火災など、次々と起こる事態に即断即決で対応しました。



まちを守る勇気を体験 消防フェスティバルで防災を知る

誰もが楽しく消防や防災活動を学べるイベント「消防フェスティバル」が、11月30日に消防防災センターで開催され、多くの親子連れでにぎわいました。

参加者は、ロープを使った人命救助や心肺蘇生とAED体験、本物のホースを使った放水体験などに熱心に取り組む、防災への理解を深めました。



差別のない明るい幸せな暮らしを 人権のつどいで日常に潜む差別を考える

12月7日、ユーホールで「人権のつどい」が開催され、人権作品の展示や表彰、講演会を通じて人権意識を高めました。

「日常の中の部落差別」をテーマに講演した上川多実さんは、現代社会において潜在化し、見えにくい形で浸透している差別について、自身の体験を交えながら語りました。



更なる学びと備えを 市民ミュージカルで防災展を開催

11月30日、上演中のミュージカルとの連携企画として、防災知識を更に深めるためのブースをしこちゅうホールに設けました。

ブースには、市と防災協定を結ぶ損保ジャパンも参加し、水害時の避難に必要な持ち物や服装を学ぶゲーム、自主防災組織の作り方を紹介するパネル展示などが行われました。

※2、3ページに関連記事